

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400046	事業の開始年月日	平成18年8月1日
		指定年月日	平成18年8月1日
法人名	株式会社 ウイズネット		
事業所名	グループホームみんなの家 横浜瀬谷		
所在地	(246-0004) 神奈川県横浜市瀬谷区中屋敷2-6-15		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成21年10月29日	評価結果 市町村受理日	平成22年2月18日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様の思いや願いを傾聴し個別支援を行っています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成21年11月24日	評価機関 評価決定日	平成22年1月15日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>◇医療連携体制があり、重度化した場合の対応指針に従って家族・医師と連携して適切な対応をする体制ができています。</p> <p>◇居宅療養管理指導体制のもとで内科医、歯科医の定期往診があり、また、総合病院と契約して、利用者、家族が安心してサービスを受けている。</p> <p>◇今年度の重点支援計画は「利用者への個別支援」であり、介護計画・モニタリングの定期的な見直し、急変時の対応、日常のサービスなどの全てについて、一律ではなく一人ひとりへの支援に職員が取り組んでいる。</p> <p>日常サービスへの取り組み例：</p> <p>◇利用者の表情、仕草の変化を見て意向を把握し、職員間に情報を渡し、食事、買い物、散歩などいろいろな機会に個別対応に努めている。</p> <p>◇利用者の出身地や本人が好む対応などを把握し、方言や本人の日常使う言葉を使って呼びかけ、対応をしている。</p> <p>◇利用者のイメージに合う食器(茶碗、箸、お椀)を誕生日に職員が選んで購入し、名前を付けずに全職員が記憶して配膳している。</p> <p>◇本人が行きたい場所を聞いて、出来るだけ個別に職員が対応している。揃って出かける外食の際は、事前にメニューを取り寄せ個人別に決めて雰囲気盛り上げている。</p> <p>◇職員の資質向上を目指して、外部研修、法人の職階別職員研修システムによる内部研修に職員が積極的に参加している。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家 横浜瀬谷
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらい
			3, 利用者の1/3くらい
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	1・2Fステーション内に掲示し職員一人ひとりが日々の業務の中で実現できるよう意識づけ「地域と共に安心して安全な環境を作る」の基、日々の生活の中で実践に繋がっています。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所開設時に全職員が参加して理念を作り、事務所内に掲示している。 ・全職員参加のミーティングで理念がサービスに反映できているかを話し合っている。 	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域と利用者様との架け橋になり、散歩時の挨拶、近くの商店への買物等により地域との交流を図っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩、買い物などの日常行動を通じ地域での生活を継続するように支援をしている。 ・町内会に加入しているが、地域行事への参加は利用者の体調制限があり困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度4月以降、町内会の情報が途絶えているので、運営推進会議への参加や町内会回覧板の再開などを事業所側から働きかけて、地域との交流を促進することを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会への加入。運営推進会議を利用して認知症の理解をテーマに情報を発信しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	瀬谷区の指導のもと3ヶ月に1回行っています。事業所の状況、取り組んでいる事などを報告しています。出席者の方からのご意見も検討し反映させています。	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月ごとに開催し、地域代表、家族代表、行政が参加している。 ・出席者の意見を反映している。例：インフルエンザ対策の表示を大きく見やすくし、玄関の外にも張り出した。 	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区役所での「虐待・拘束」「感染症」等のシンポジウムに参加している。区役所と契約を結び徘徊ネットワークに登録している。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の更新、利用者の状況報告など、区役所担当者との連携をとっている。 ・区役所主催の「感染症」等のシンポジウムに参加し、区役所と連携する徘徊ネットワークに登録している。 	

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行う事の弊害は理解している。 玄関については安全管理上施錠していますが、いつでも開錠できる状態にしてあります。	・法人の身体拘束排除指針があり、職員は内部研修、外部研修に参加して身体拘束をしないケアを理解し実践に取り組んでいる。 ・玄関は安全上施錠しているが事業所内は開錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者を始め全職員が虐待を見過ごさないよう徹底している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度について、地域包括センターに連絡をしました。 権利擁護についての相談があった時にも対応している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に基づき口頭で説明を行い、ご理解、納得を得ています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会で意見を伺っています。苦情相談窓口を明確にしていますご利用者様には傾聴する時間を作り、記録、申し送り等により職員間で情報共有しています。	・家族会や家族来訪時または電話の機会に意見や要望を聞き、職員ノート、利用者ファイルに記録して、管理者と職員が相談し対応をしている。 ・苦情相談窓口担当者を掲示している。	

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議や個別面談、日々の会話の中より出た意見、提案を取り入れています。	管理者は職員と日常のコミュニケーション、個別面談（年1～2回）を通じて、事業所運営、シフトの希望日などに関する意見、要望を把握し、対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ホーム内で各自が向上心を持って働けるよう研修を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回、法人内の研修予定が送られてきます、回覧し誰でも参加できるようにしています、ホーム内研修も行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人内の他事業所の管理者との交流の機会を持ち、情報交換をしている。 職員同士の勉強会を開いている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	実調時に、ご本人とゆっくりお話できる時間を作り、不安や心配や体調などを伺い、安心して頂けるよう配慮しています。		

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	実態調査時に御家族の方にお話を伺い、心配や不安、どのようにしたいか等の思いも聞くようにしています。また実調後もいつでも連絡を取れるような体制にしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	実態調査表により職員全員が情報を把握し何を必要としているかを会議にて検討しています。介護計画作成時には、職員で情報の共有をしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	おひとりお一人を把握できるよう日々の生活の中で入居者様との係りを大切に、不安や喜び思い等を傾聴し、共感し理解する。個別支援を行っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会に参加して頂いています。面会の際や電話なども利用し御家族とお話する時間を作り入居者様の情報共有を図っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人から希望があった場合は事業所の電話や、手紙を利用しています。携帯を持っている方もいらっしゃいます。	・手紙、面会、電話（個人の携帯電話、希望があれば事業所の電話）などを通じて馴染みの人との関係を維持するための支援をしている。	

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	おひとり、お一人が孤立しないよう、助け合って生活ができるよう、当番を作りお互いの生活を支えあっています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サマリーや必要に応じてはその他の書類で情報を提供し、今までと同様の生活が継続できるよう支援しています。		
Ⅲ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中より、御本人の願い、思い、希望をくみ取りその情報をカンファレンス等にてスタッフ間で共有しています。	・利用者との日々の生活を通じて思いや意向を把握し、また、一寸した表情変化や仕草で思いをくみ取り、職員間で情報を共有して、本人へのサービス反映に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	実態調査表から情報を把握し、また御本人、ご家族様より情報をききとりスタッフ間で情報共有をしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	健康管理に関する記録により身体状況の把握、また生活記録や申し送りにてその他の情報をスタッフ間で共有しています。		

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成時には、御本人の意向を大切に、またご家族様からの意向も含めアセスメント、カンファレンスを行い無理のない介護計画を作成しています。	・モニタリング結果を3ヶ月毎に検討し、事前に家族や本人の意見・要望を聞いて介護計画を6ヶ月毎に見直している。ケアカンファレンスには全職員が出席することを基本にしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録等からの情報より状況の変化に応じて介護計画の見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(シニアセラピーやリハビリマッサージ等) 御要望があった時には対応できるようにしています。 個別支援を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	美容院やボランティアの利用、また徘徊ネットワークへの登録を行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約事にご家族、御本人へ説明、納得して頂き、同意の上、事業所の訪問診療医を利用して頂いています。	・港北メディカルクリニック(内科、2回/月)、デンタルオフィス横浜(歯科、2回/月)の往診、歯科衛生士の口腔指導(毎週)がある。横浜甞生病院(総合科目)と契約している。	

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の看護職員により健康管理、相談等が行われています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院、ご家族様と連絡を取り合い情報提供を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に「重度化した場合の対応に係る指針」を説明しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化した場合の対応指針があり、入居時に家族、本人に説明をしている。 ・重度化した場合は、家族、医師と連携して適切な医療対応をしている。 	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルはあります。職員に周知徹底をしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員に避難場所を周知し、近隣スタッフへの協力を仰いでいます。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を年2回（9月、1月）行っている。消防署への連絡、利用者参加、消防署員指導による消火訓練を行っている。 ・横浜市主催の火災時の初期対応研修に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震などの災害に備えて、地域との協力体制を築くことを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	御本人のプライバシーに配慮しその方に合わせた個別の声かけや対応を行っています。	・職員は、利用者一人ひとりが好感を持つ声のトーンや、言葉遣いを把握し、声かけをしている。 ・個人情報の記録は、ロッカーに施錠し保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択、判断ができる場面を作っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調やお気持ちなどを配慮しその方に合ったペースで過ごして頂ける様支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一緒に服を選んだり今までの使用していた化粧品やシャンプーなども利用して頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付け、食器拭きなど職員と一緒にしています。	・利用者各人の食器は、誕生会で利用者それぞれのイメージに合わせて職員からプレゼントされたもので、楽しんで食事をしている ・食後の下膳手伝いには車椅子の利用者も参加している。	
41					

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量、好みや食事形態の把握。状況によっては食器なども変え対応しています。スタッフと一緒に席につきバランス良く召し上がれるよう声かけをしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後行っています。入居者様の状況に応じて介助を行い口腔内の清潔を保って頂いています。歯科医師、歯科衛生士が週1回状態観察をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	記録により排泄、排泄パターンの把握を行い、入居者様のお気持ちを配慮しながら、定期的なお声かけにて排泄誘導、自立支援を行っています。	・利用者が好む声かけを工夫し、排泄パターンを把握して定期的にトイレに誘導している。これによりオムツの利用者は失敗の回数が減っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	記録により排便日を確認しています。水分を多く摂って頂くよう心掛け体操も取り入れ、自然排便を促す取り組みを行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日自由に入浴ができるよう、職員の勤務時間を調整している。	・週2回の入浴を基本にしているが、希望があれば午前7時から午後8時まで毎日入浴ができる。 ・湯温は利用者の好みに合わせ、職員が実際にお湯に触って事前確認をしている。	

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室、リビングの食席以外の場所にテレビ・ソファを設置し休息できるスペースを作っています。居室内においてはおひとりお一人に合わせた温度や照明調整を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方があった時には薬剤師が薬を持参し、用法・用量についての説明をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	能力に応じた役割をもって頂けるよう、またタバコやお酒等の嗜好品も取り入れ支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の意向を傾聴し、個別支援を行っています。買い物、食事、散歩など外に出て気分転換をして頂いています。	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの公園は日ごろの散歩コースになっている。 ・日常の散歩以外に、利用者の希望でカラオケの好きな組はバスで出かけたり、月に1度はファミレスで各自好きなものを注文し楽しんでいる。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自動販売機でのジュース購入時はご自分でお支払いをして頂くよう支援しています。お金を所持している方もいらっしゃいますので近くの商店への買物等も支援しています。		

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の御希望に応じいつでも電話や手紙のやり取りができるよう対応しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じて頂く為季節に合わせたレイアウトを作成しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に昔の家具のミニチュアや、めだかを飼っている金魚鉢があり、明るい。 ・居間に季節を感じる銀杏やもみじを飾り、また、行事風景の写真を掲示している。 ・温湿度に気を配っている。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事やお茶以外の時間はお好きな場所で過ごして頂いています。 一人で過せる環境空間を作っています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れた品や思い出のある物などを持ってきて頂き、今までと同じよう安心して居心地良く過ごして頂ける工夫をしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設が設置しているタンス、ベッド、布団の他に、馴染みの布団、テレビ、写真、好みの物を持ち込んでいる。 ・部屋は整頓され掃除が行き届いている。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	文字によるトイレの表示、居室入口への名札や目印、椅子カバーなどで工夫しています。		

事業所名	グループホームみんなの家 横浜瀬谷
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらい
			3, 利用者の1/3くらい
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	1・2Fステーション内に掲示し職員一人ひとりが日々の業務の中で実現できるよう意識づけ「地域と共に安心して安全な環境を作る」の基、日々の生活の中で実践に繋がっています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域と利用者様との架け橋になり、散歩時の挨拶、近くの商店への買物等により地域との交流を図っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会への加入。運営推進会議を利用して認知症の理解をテーマに情報を発信しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	瀬谷区の指導のもと3ヶ月に1回行っています。事業所の状況、取り組んでいる事などを報告しています。出席者の方からのご意見も検討し反映させています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区役所での「虐待・拘束」「感染症」等のシンポジウムに参加している。区役所と契約を結び徘徊ネットワークに登録している。		

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行う事の弊害は理解している。 玄関については安全管理上施錠していますが、いつでも開錠できる状態にしてあります。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者を始め全職員が虐待を見過ごさないよう徹底している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度について、地域包括センターに連絡をしました。 権利擁護についての相談があった時にも対応している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に基づき口頭で説明を行い、ご理解、納得を得ています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会で意見を伺っています。苦情相談窓口を明確にしていますご利用者様には傾聴する時間を作り、記録、申し送り等により職員間で情報共有しています		

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議や個別面談、日々の会話の中より出た意見、提案を取り入れています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ホーム内で各自が向上心を持って働けるよう研修を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回、法人内の研修予定が送られてきます、回覧し誰でも参加できるようにしています、ホーム内研修も行っています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人内の他事業所の管理者との交流の機会を持ち、情報交換をしている。 職員同士の勉強会を開いている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	実調時に、ご本人とゆっくりお話できる時間を作り、不安や心配や体調などを伺い、安心して頂けるよう配慮しています		

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	実態調査時に御家族の方にお話を伺い、心配や不安、どのようにしたいか等の思いも聞くようにしています、また実調後もいつでも連絡を取れるような体制にしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	実態調査表により職員全員が情報を把握し何を必要としているかを会議にて検討しています。 介護計画作成時には、職員で情報の共有をしています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	おひとりお一人を把握できるよう日々の生活の中で入居者様との係りを大切に、不安や喜び思い等を傾聴し、共感し理解する。 個別支援を行っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会に参加して頂いています。面会の際や電話なども利用し御家族とお話する時間を作り入居者様の情報共有を図っています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人から希望があった場合は事業所の電話や、手紙を利用しています。携帯を持っている方もいらっしゃいます。		

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	おひとり、お一人が孤立しないよう、助け合って生活ができるよう、当番を作りお互いの生活を支えあっています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サマリーや必要に応じてはその他の書類で情報を提供し、今までと同様の生活が継続できるよう支援しています。		
Ⅲ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中より、御本人の願い、思い、希望をくみ取りその情報をカンファレンス等にてスタッフ間で共有しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	実態調査表から情報を把握し、また御本人、ご家族様より情報をききとりスタッフ間で情報共有をしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	健康管理に関する記録により身体状況の把握、また生活記録や申し送りにてその他の情報をスタッフ間で共有しています。		

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成時には、御本人の意向を大切に、またご家族様からの意向も含めアセスメント、カンファレンスを行い無理のない介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録等からの情報より状況の変化に応じて介護計画の見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(シニアセラピーやリハビリマッサージ等) 御要望があった時には対応できるようにしています。 個別支援を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	美容院やボランティアの利用、また徘徊ネットワークへの登録を行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約事にご家族、御本人へ説明、納得して頂き、同意の上、事業所の訪問診療医を利用して頂いています。		

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の看護職員により健康管理、相談等が行われています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院、ご家族様と連絡を取り合い情報提供を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に「重度化した場合の対応に係る指針」を説明しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルはあります。職員に周知徹底をしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員に避難場所を周知し、近隣スタッフへの協力を仰いでいます。		

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	御本人のプライバシーに配慮しその方に合わせた個別の声かけや対応を行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選択、判断ができる場面を作っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調やお気持ちなどを配慮しその方に合ったペースで過ごして頂ける様支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一緒に服を選んだり今までの使用していた化粧品やシャンプーなども利用して頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付け、食器拭きなど職員と一緒にしています。		

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量、好みや食事形態の把握。状況によっては食器なども変え対応しています。スタッフと一緒に席につきバランス良く召し上がれるよう声かけをしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後行っています。入居者様の状況に応じて介助を行い口腔内の清潔を保って頂いています。歯科医師、歯科衛生士が週1回状態観察をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	記録により排泄、排泄パターンの把握を行い、入居者様のお気持ちを配慮しながら、定期的なお声かけにて排泄誘導、自立支援を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	記録により排便日を確認しています。水分を多く摂って頂くよう心掛け体操も取り入れ、自然排便を促す取り組みを行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日自由に入浴ができるよう、職員の勤務時間を調整している。		

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室、リビングの食席以外の場所にテレビ・ソファを設置し休息できるスペースを作っています。居室内においてはおひとりお一人に合わせた温度や照明調整を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方があった時には薬剤師が薬を持参し、用法・用量についての説明をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	能力に応じた役割をもって頂けるよう、またタバコやお酒等の嗜好品も取り入れ支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の意向を傾聴し、個別支援を行っています。買い物、食事、散歩など外に出て気分転換をして頂いています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自動販売機でのジュース購入時はご自分でお支払いをして頂くよう支援しています。お金を所持している方もいらっしゃいますので近くの商店への買物等も支援しています。		

みんなの家 横浜瀬谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の御希望に応じいつでも電話や手紙のやり取りができるよう対応しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じて頂く為季節に合わせたレイアウトを作成しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事やお茶以外の時間はお好きな場所で過ごして頂いています。 一人で過せる環境空間を作っています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れた品や思い出のある物などを持ってきて頂き、今までと同じよう安心して居心地良く過ごして頂ける工夫をしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	文字によるトイレの表示、居室入口への名札や目印、椅子カバーなどで工夫しています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 みんなの家 横浜瀬谷

作成日 22年 1月 26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	・地域との関わり、交流不足	・地域との交流	・回覧板に関しては、役所の協力を得て再開。 ・地域の行事への参加。 ・運営推進会議の参加の呼びかけ。	6ヶ月
2	1	・理念・方針に関しては日々の生活の中で実践していますが、職員によって経験などに差があるため毎月の会議・カンファレンスで日々のケアに反映・実現できているかを検討してく	・全職員の更なる意識の向上	・研修の年間スケジュールを立て、毎月の会議の中に取り入れ、職員で再確認を行う。	12ヶ月
3		・緊急時の備蓄品の整備	・備蓄品の確保	・会議にて必要な物を検討し購入する。 リストを作成し管理する	6ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。